

藤枝・図書館友の会ニュース

<第28号・2017年1月発行>

2面/県図書館大会、参加報告 3面/第4回ビブリオバトル、学校司書さんとの出会い
4面・5面/県立中央図書館・新館建設の要望書、資料 6面/ブックトーク、ほか

市民団体、県立中央図書館の建替えを要望!

市町立図書館へのサポートや市・町にない蔵書・郷土資料、専門書が充実し“おうだん君”のネット検索を通じて全ての県民とつながっている県立中央図書館。

歴代県知事・県教委関係者等の努力で着実な歩みを進め、県民にとってなくてはならない“知的インフラ”です。一方、1970年に現在地に開設された建物は老朽化・狭隘化が激しく、現状のままでは時代の要請に応える施設としては限界があり、建替えは急務です。

このため、県内の関係団体は、次の三点について所管の県教育長あて要望書を提出し(昨年11月)、県議会の各会派にも要請をしました。



現在の県立中央図書館 全景

要望事項の要旨は次のとおり。

- 1 県民の知る権利を支える豊富な資料の蒐集・蓄積
- 2 県民への直接サービス機能と市町立図書館へのサポート機能を十分に発揮できる規模。具体的には少なくとも全国平均の12,000㎡を上回る規模の施設
- 3 専門性・経験を重視した十分な職員体制の確保

(要望書全文、静岡図書館友の会作成の関連資料は4・5面へ掲載)

=====

藤枝・図書館友の会総会、記念行事 ご案内

2017年3月12日(日) 藤枝駅南図書館・集会室

◆記念行事『藤枝の昔話はいかがでしょう』 14時～15時30分
SBSラジオでお馴染み 八木洋行氏の語り“藤枝の妖怪”



「水上池の大蛇」「笹間峠法明寺の化け蜘蛛」「田中城の千石蔵狐」等
入場無料 誘い合わせご参加を! (詳細は別途チラシをご覧ください)

◆友の会総会 13時～14時(記念行事に先立ち行います。
会員の皆さまは総会からお出かけください。)

図書館の意義、本の意義とは？ ～火災時の図書館をきっかけに～

< 静岡県図書館大会に参加して >

2016年11月7日(月)グランシップで、第24回静岡県図書館大会が開かれ参加しました。県内図書館に関わる職員、友の会のような市民ボランティア、読み聞かせボランティアなど約1000人の人々が参加しました。

開会式で河原崎静岡県図書館協会会長が挨拶、県図書館大会が前身の大会も含めて、50年以上続けられてきた意義を強調されました。大会は午前中に表彰式、情勢報告、ライブトーク、午後からは6分科会に分かれ議論を深めました。



南雲初義(友の会会長)

恒例の情勢報告は山本宏義氏(日本図書館協会副理事長)が行いました。要旨は次の通りです。

- ①全国の公共図書館数が昨年に引き続きが減少(3241館、2015年)に転じている。
- ②資料費(全国平均867万円、単価2000円として1公共図書館で4335冊)が1998年比較で7割に減った。
- ③指定管理者制度導入(469館/3241館中で14.5%、2015年現在)については民間企業が管理者(全体の78%)になっていて問題も生じている。教育委員会と民間指定との連携が不充分等。
- ④2015年6月学校図書館法が改正され、学校司書の配置が義務付けられた。2016年10月20日の文科省報告で学校図書館のガイドライン、学校司書のカリキュラム作成が指示された。
- ⑤平成28年度地方交付税算定方式が改定され、図書館協議会(市町村分)への交付金が支給されるようになった。

午前中の最後に表題のテーマでライブトークが行われた。コーディネーターは石井正巳氏本(東京学芸大学教育学部人文社会科学系教授)。パネリストは佐藤健二氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授)と塚田薫代氏(静岡県立こども病院医学図書室 医学司書)。概要は以下の様です。

石井発言…①災害時と図書館について。静岡で大災害が起こると、津波最大34m、死者32万人、238万の倒壊家屋が予想されている。災害と復興の機能が大事。まず「食べることと生きること」(宮沢賢治)、②当事者意識の追体験。「忘れられないと忘れる」の心のせめぎあい。例、「関東大震災を振り返る」をテーマに公共図書館でイベント実施。③災害の歴史を認識する中で未来を見通す力を養う。④ある体験を言葉にすることも大切。

佐藤発言…①図書館と本の力。図書館は森。森は様々な木がある(言葉の森) ②本は時間を創る。エンデは「本は言葉で出来ている面白い物質だ」と言った。つまりもう一つの世界を創り上げているという意味。例「電車の中の読書」=不特定多数の中で視線を避ける避難場所、③本は情報ではなく物。コンテンツ(内容)とフォルム(形)がある。本はコンピューターの様な進化してきた「情報」を疑うのに最適。④言葉はもう一つの手、脳、皮膚(センサー)、つまり「拡大されたある種の身体」。⑤図書館は人々の経験のデータベース。

塚田発言…①医療図書館の中での保健室の重要性 ②患者の相談には、エビデンス(科学的根拠)とナラティブ(患者の語り)を大切にしている ③例えば、癌患者の人の願いに応えるためには図書館の情報が必要。④PTG(心的外傷後成長)の為に、患者が「もがく」ことも必要。そのあとに成長がある。

私はこの十数年連続して県大会に参加していますが、その度に地域で図書館活動を進める上で示唆されることが沢山あります。皆さんもぜひ参加ください。

「第4回ビブリオバトル in 藤枝」を開きました



上・会場風景

右下・バトラー席

＜当日紹介された書名＞

- 「さよなら妖精」(米沢穂信著)
- 「偉大なファンタジー最後の一匹」
(ジュリア・アンドリュース著)
- 「椿と花水木」(津本 陽著)
- 「しずおかホビーは凄いい」
(財団法人静岡県文化財団編)

“ビブリオバトルを藤枝で定着させたい”との思いで第4回目を開きました。会場は駅南図書館。

今回、本の紹介者=バトラー4名は、読書歴豊富な方ばかりで5分間の本の紹介内容が素晴らしく、観覧者もスピーチを堪能できた充実した集いになりました。

バトルで紹介された本は別記のとおり。

観覧者を含む全参加者37名の投票の結果チャンプ本に選ばれたのは村松さんが紹介した「偉大なファンタジー最後の一匹」という本。

参加者のアンケートから、ビブリオバトルの認知度がまだまだ低いことが伺われる一方、“参加してみると楽しい企画だ”と開催を評価する方が多数で、会としてはこれからも続行を検討しています。

なお、藤枝市図書館課長が来場され、挨拶をいただきました。(2016. 11. 23)



学校司書さんとの遅すぎる出会い

大石美代子 (友の会会員・岡部おはなしの会)

小中学校の朝の読書の時間に、本読みボランティアを私はしている。先日、本読みを終えて廊下に出ると、若い女性が「図書館司書」だ、と名乗って話しかけて下さった。市内の学校に司書さんが配置されているという事は、4年位前から承知はしていたが、直接にお会いするのは初めてだった。お話を伺うと納得できた。

司書さんの現在の勤務時間は10時からという。私たちが学校へ伺うのは8時から10分間だけ。大きくずれ違っているのだ。そして、一人の司書さんが2校を兼務しているという。

図書館の仕事って一杯、一杯あるのに、びっくりしてしまった。その勤務状態の中を「今朝はよく来てくださった」と言うのと「本読みに興味があった」と答えられた。

私は嬉しくなって「実は私も学校司書をしていたの。生徒たちと登校も一緒にね。一日中図書室にいて、休み時間は勿論、掃除も放課後の図書活動もね。いつも子どもたちと一緒にだった」と言うのと、「もっと、おはなし聞かせて」と熱心なお顔だった。

私が勤務していたのは昭和三十年代の頃だったが……。〈次号へつづく〉

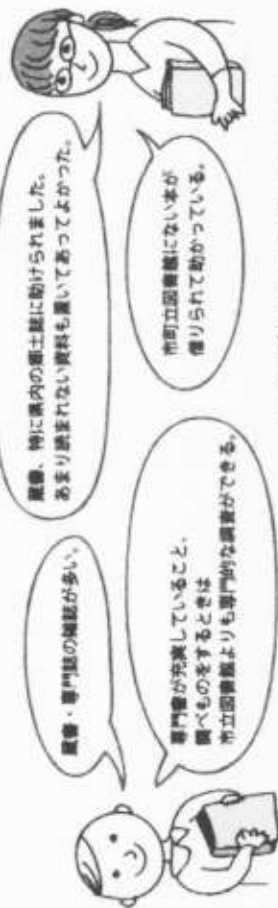
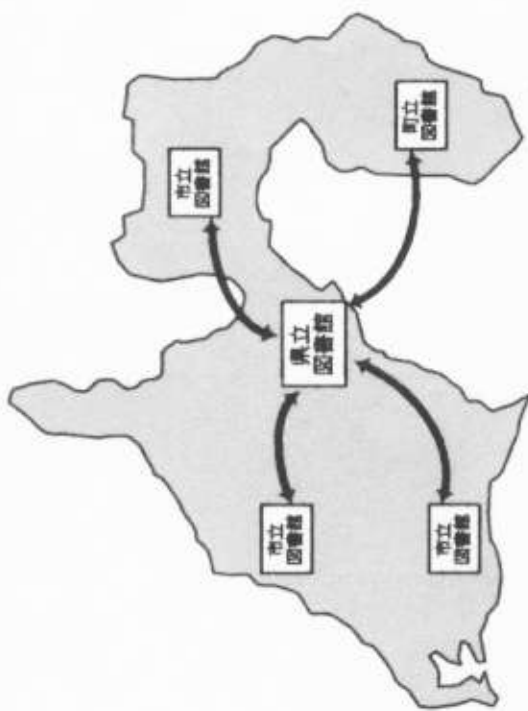


藤枝市立岡出山図書館 (昭和54年開館)

県立図書館は

全ての県民とつながっています

～県立図書館と市町立図書館はなにが違うの？～



県立・専門誌の雑誌が多い。

県立、特に県内の郷土誌に助けられました。あまり読まない資料も置いてあってよかったです。

市町立図書館にない本が借りられて助かっている。

専門書が充実していること。調べものをするときは市立図書館よりも専門的な調べができる。

静岡県立中央図書館編『県』の「図書館アンケート」より

静岡県立中央図書館を全国的に見ると…

『日本の図書館 2015 統計と考察』(日本図書館協会 2016年2月)より

静岡県

財政力指数 0.68362 (2013年) ←7位
 人口 3,705,000人 (2014年) ←10位
 面積 777.870ha (2014年) ←13位

総務省統計局サイトより

蔵書冊数 (冊)

1	大阪府	2,625,848
2	東京都	2,440,257
3	埼玉県	1,549,169
4	滋賀県	1,370,936
5	千葉県	1,358,273
全国平均		1,003,788
35	静岡県	782,422

★県民一人当たりの蔵書冊数は0.26冊で全国41位

図書館費 (千円) (2015年度予算)

1	東京都	1,396,234
2	大阪府	797,818
3	京都府	424,114
4	神奈川県	368,288
5	奈良県	347,422
全国平均		226,770
23	静岡県	172,742

※図書館費＝1戸員を1件(図書館のすべての経費)単位で算出。静岡県は全国23位

延床面積 (㎡)

1	大阪府*	37,688
2	東京都*	27,547
3	岐阜県	25,206
4	京都府*	21,220
5	福井県*	20,015
6	愛知県	19,604
7	神奈川県*	18,746
8	岡山県	18,193
9	宮城県	18,101
10	高知県(新築)	17,764
全国平均		12,086
30	静岡県	8,817

※分館別別館の順(※印)は面積合算

静岡県立図書館がさらに充実すると、県内の市町立図書館も充実し、県民の読べる、学ぶ環境がもっとよくなることにつながります！



※本頁は「静岡県図書館友の会」作成資料を転載させていただきました

静岡県教育委員会
教育長 木苗直秀 様

静岡図書館友の会代表 田中 文雄
藤枝図書館友の会会長 南雲 初義
静岡県読み聞かせネットワーク会長 飯野紀代子

静岡県立図書館の新館建設についての要望書

日頃から図書館振興についてご理解とご尽力をいただき、感謝申し上げます。わたくしども3団体は、県民、市民の読書環境の充実と図書館の発展を願って活動をしています。図書館のあり方についても関心を寄せ続け、県立中央図書館が厳しい財政の中でもサービスの発展にご尽力してくださっていることをいつも大変感謝しています。2014年には、さらなる発展を願って県内関連団体と共に、添付のような提言書を知事と教育長あてに提出いたしました。幸いにも知事、教育長はじめ関係当局の皆様のご理解で、次年度には資料費が1,150万円増額、書庫整備費として1,100万円の予算がつけました。

しかしながら建物については、狭隘化・老朽化が激しく、バリアフリーやアクセスの観点からも課題が多いことを予てから危惧し、新館の建設を切望してまいりました。生涯学習の拠点であり、情報センターとしての役割をもつ図書館は、自治体の知的インフラであり、文化度のバロメーターともいえます。しかし現在の静岡県立中央図書館は、財政力のある静岡県としては、他県に比べ不十分なものであると思います。

わたくしどもは将来に禍根を残すことなく、「読書県しずおか」の名に恥じない新しい県立図書館の誕生を心より待ち望んでいます。

財政難の時代であっても、教育文化は後世の子どもに手渡したい知的財産であり、未来の静岡県の真の発展を約束するものです。是非とも、下記の項目について今後の静岡県立図書館建設計画に反映していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

- 1 県民の知る権利を支える豊富な資料。
- 2 県民への直接サービス機能と、市町立図書館へのサポート機能を十分に発揮できる規模。具体的には、少なくとも全国平均の12,000㎡を上回る面積。
- 3 専門性・経験を重視した十分な職員体制。

〔賛同団体〕

あさはた図書館市民の会 熱海読み聞かせの会 (一)国際女性教育振興会静岡県支部 有度ましろの会 掛川市子どもの読書活動を考える会 かしの木 学校図書館を考える会・静岡 静岡おはなしの会 静岡子どもの本を読む会 島田図書館友の会 SWOSの会 トモエ文庫 西奈おはなしはらっぱの会 西奈図書館友の会「けやき」日本学校図書館学会静岡県支部 ぬまづ子どもの本を学ぶ会 ひろみ文庫 富士宮子どもと読書の会 富士宮子どもの本研究会 北部図書館友の会 美和図書館友の会 やまんばの会 やなぎ文庫 遊本館

『自分では気づかない、ココロの盲点』

池谷 裕二著（講談社刊・ブルーバックス）



ちょっと読んで頂きたいこの本、少々長い題名ですが、当市出身の池谷裕二東大教授の本です。80の事柄を応答形式で、しかも、えっ、こんな考え方があったんだ、と思わせる方法で処理しており、読んでいて、とても気持ちが良い本です。中にこんな一節がありました。

“モラルの低さは生得的なものではなく、「人よりも上にいる」という特権意識によってもたらされるわけです。”つまり、生まれつき特権意識を持っている人は無く、例えば、議員に当選してチヤホヤされ始めると特権意識が芽生え、公金を流用しても何の罪の意識も無くなり、一般人との乖離が大きくなる訳です。政治家は常に国民全体への奉仕者でなければならず、これは憲法15条にも書かれています。

では何故、特権意識が生まれるのか？ 答えは簡単。それは金持が高級車に乗ってふんぞり返るように議員には高級車に相当するものが多いからに他なりません。

ではどうしたら普通車に乗り換えさせることができるでしょう。南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏に、もう一度、熱く語って載きたいものです。

このような意識と思考をもたらすのが、この本です。どうぞ一度手に取ってみてください。

八木新太郎（友の会会員）

ご案内します

高橋源一郎氏講演会 2月26日（日）14:30～16:00 静岡市もくせい会館 500円
主催／静岡市図書館友の会（第9回総会記念行事）

＜プロフィール＞小説家、明治学院大学教授。81年『さようなら、ギャングたち』で群像新人長編小説優秀賞受賞、88年『優雅で感傷的な日本野球』で三島賞受賞。ほか多数。新聞にコラムを執筆、テレビ・ラジオにも出演している。

鈴木のりたけ氏トークショー 3月4日（土）13:30～15:00 藤枝市駅南図書館主催
「しごとば」ができるまで 2月14日から図書館で受付・入場無料 定員100名

＜プロフィール＞浜松市生まれ。グラフィックデザイナーを経て絵本作家となる。

『ぼくのトイレ』で第17回日本絵本賞読者賞、『しごとば 東京スカイツリー』で第62回小学館児童出版文化賞受賞。

……友の会から……

「源氏物語朗読会」続編開催へ
朗読担当・大石美代子さんのご尽力で
其の一、其の式計10回が終了しました。
“これを聴きたくて会員になった”とい
う方も居られ“継続を”の声を頂戴して
いますので、2017年度も開催できる
よう準備を進めています。

3月12日に開催する総会で正式にお
知らせします。どうぞご期待ください。

藤枝・図書館友の会ニュース第28号

2017年1月発行

友の会事務局 〒426-0044
藤枝市大東町304-3 桑原方
電話・FAX054-635-0122

HP [藤枝・図書館友の会](#) 検索

